

【佳作】

## 北方領土の問題点

札幌市立厚別北中学校

1年 矢野 日真里

私は今までの人生全てをここ北海道で過ごしてきました。しかし、北方領土について無関心だったし知識もあまりなかったので、この機会に調べてみることにしました。

私が今回調べてみて特に問題だと思ったことは三つあります。一つ目は北方領土について語れる人がどんどん少なくなっていることです。というのも、ソ連が北方領土全てを不法占拠しはじめたのは一九四五年九月五日。二〇二三年までにもう七十八年もたっています。その当時の北方領土の人口は一万七千二百九十一人でしたが、その中で今の元島民の人数は五二九六人。そしてその平均年齢は八十八歳です。そのため、今の若者達は北方領土に思い入れがありません。それでこれから北方領土についてますます無関心になり、この問題についてあまり重要視されなくなっていってしまうのではないかと思います。

問題に思ったこと二つ目は北方領土についての学習機会が少ないことです。「北方領土についての学習会や啓発活動が行われました。」というニュースがテレビで紹介されているのを私は見たことがあります。そのようなニュースがテレビで紹介されるということは北方領土についての学習会や啓発活動が珍しいからということではないでしょうか。そのため、北方領土についての学習会や啓発活動をもっと学校などでとり入れ、北方領土についての学習会をあたりまえのことにしなければならないと思いました。そして、もっとみんなが北方領土への意識を高めていく必要があると感じました。

問題に思ったこと三つ目は、北方領土についての情報サイトが読みにくいということです。今回調べてみてかなり思ったのが、ほぼ全てのサイトの字が小さく長い文章で書かれてあり、これではせっかく何かのきっかけで北方領土を調べようと思ってもなかなか人々の学習の機会が広がらないと思います。なので、もっと簡単な言葉で分かりやすくまとめたサイトも作るべきだと思いました。

今回、北方領土について様々なことを調べてみて、こんなに素敵な島が不法に占拠されてしまったことはとても悔しくて悲しいことだし、こんなに素敵な島を奪われても前の私のように北方領土について無関心な人がたくさんいるということもとても残念に思いました。そして、今回調べたことをただの知識として終わらせるのではなく北方領土のためになにか行動にうつしていこうと思います。